

平成28年度第2回市民と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

開催日時	平成28年11月13日（日） 午後1時30分 ～ 午後3時25分	
開催場所	アスパアやましろ 視聴覚・研修室	
担当議員	班代表者	伊藤紀味枝
	司会者	高岡 伸行
	報告者	九社前聿朗
	記録者	片岡 廣・森本 隆
	班員 (上記以外)	西岡 政治・酒井 弘一
参加人数	6人	
主な質疑・意見等	<p>Q:補助金が多い救急車の財源に、ふるさと納税のお金を使っているが、補助金が少ない神社仏閣等の補助に使うべきではないか。</p> <p>A: 昨年は、大仏鉄道の看板の設置に財源を使用したのが、幅広く様々なところに使っていきたい。</p> <p>今回の場合は、指定寄付により充当したものである。</p> <p>Q:市への要望は、地域長を通じて、毎年2月に総務課に提出するが、その内容は議会で報告を受けているのか。</p> <p>A: 総務課で担当課に振り分けて調査し、6月に回答している。</p> <p>内容は聞いていない。</p> <p>Q: 請願は、地域より提出されるものであり、議員全員が賛成するものであると思っていたがどうか。</p> <p>A: 請願についても、すべて賛成ではない。費用対効果等を考えて、議員がそれぞれ判断している。</p> <p>Q: 臨時福祉給付金は、介護認定を受けていない方に支給されている。介護認定を受けて、サービスを受けていない方に支給がないのは、不公平。家庭で介護している場合は、何か報奨金等があってもいいのでは。</p> <p>A: この事業は昨年度に限り、地域の活性化を目的として、介護認定を受けていない80歳以上の方に対して行われた事業である。</p> <p>Q: 学研中央地区の土地購入について、詳しく説明をお願いしたい。</p> <p>A: 土地が、民間に売却されて住宅開発がされると、豪雨時には下流域での水路の整備が不十分であり、水害の恐れがあること。また、木津合同樋門の排水ポンプが、十分に対応できるとは言えないため、ポンプを購入したが、まだ不十分である。学研中央地区は、URがきちんとすべきであるが、URは撤退が平成30年に決まっている。民間に売</p>	

	<p>却される前に、防災面を考え、市が購入した。 なお、将来の土地活用を考え、安く土地を購入するように付帯意見を付けた。</p> <p>Q：加茂にイノシシが出て困っている。鳥獣対策について、獣をなくす根本対策はできないか。 また、職員に免許をとるような対策ができないか。</p> <p>A：免許申請年間5人の補助枠があるが、猟銃人口は増えない。 若い方が少ない。ワナ・オリは増えている。オリが役に立っている。 地元の方の同意・協力があれば柵等の設置が可能であると聞いている。</p> <p>Q：市の基金が増えている。金額的に多いのではないか。</p> <p>A：今後、交付税の合併特例が減るので、財政が厳しくなる見通し。 将来のために貯金するのは妥当であるとする。借金が多いので、返済をするのも選択の一つと考える。</p> <p>Q：保育園の完全民営化とあるが、公立の保育園の方が安心でいいのではないか。</p> <p>A：基本的には国制度が民間にシフトしたため。また、保育園の民営化については、直近の保育ニーズに対応するためには民営化は有効な手段だと考える。</p> <p>Q：JR上狛駅・柵倉駅は完全無人化になると聞くが継続できないか。</p> <p>A：まだ検討中であり、結論が出たわけではない。</p> <p>Q：山城学校給食センターは、市内の学校給食の中で地産地消の面からも一番良いと思うので残す方法を考えてほしい。</p> <p>A：山城学校給食センターの建物は、建築後、14年経過しているが、厨房機器は以前の施設のものである。また新たに機器を購入してもスペースが狭い。アレルギー対策を行うにもスペースが足りない。 行政に、市民の理解が得られるよう説明を求めていく。</p> <p>Q：購入した場所は、十分な面積があるのか。 また柵倉小学校まで、時間がかかるのではないか。</p> <p>A：敷地は、7千食対応には7千㎡が必要だが、必要面積は確保できると聞いている。</p>
<p>質問・要望等で行政側へ報告すべき内容</p>	<p>・山城学校給食センターの今後の方針は、地元の方への丁寧な説明が必要。</p>
<p>その他特記事項</p>	

上記のとおり、報告します。

平成28年 11月 28日

木津川市議会議長 倉 克伊 様

平成28年度第2回議会報告会

第3班 代表者 伊藤 紀味枝 ㊞